

点描ぐんま経済

日銀支店長
見聞録

■99■

これまでで県境を最も意識させられたのが碓氷峠だ。見晴台には

群馬と長野の県境が示される。頂上には群馬側の熊野神社と長野側の熊野皇大神社が並び、同じくする参道にやはり県境が示され、さい銭箱もそれぞれのものが隣り合う。ここまではまだ自分の意志で群馬側に居て、さい銭も熊野神社で投げる事が可能だ。しかし、店内に県境が引かれた門前の茶屋は案内次第。長野側に通されてしまった私は後ろめたさを感じたが、名物の力餅は素朴でおいしい。

碓氷峠の力餅

力餅は、地元出身の平安時代の武将で、碓氷峠の大きな石を持ち上げる力持ち、碓氷貞光にちなむ。中山道の

「侍マラソン」

遺産残す

しみにして
いるだろ
う。大関

29キロを走った。現在、神社の参道入り口には「安政遠足決勝点」の看板があるが、史実を知らなかった私は、安政のえんそく？えんそくの決勝？と大いに混乱した。

スタートの安中城址も訪れた。部下にこから碓氷峠まで走れ

そんな安政遠足は現代になり「安政遠足侍マラソン」として復刻され、仮装ランナーが中山道を駆け抜ける人気がイベントとなった。安政遠足を描くラジオドラマ、小説、映画も制作された。そこで思い出すのが江戸時代終わり頃の言い伝えであ

その勝明侯は、安中に侍マラソンという遺産まで残していた。侍マラソンは、感染症の流行により二年連続で中止されたが、今年5月8日(日)に開催が予定されている。ランナーたちは、心躍らせながら仮装を思案し、市民も沿道での応援を案

旅人は力餅を食べ、難所碓氷峠を越えていった。

力餅は、日本初のマラソンとされる1855(安政2)年の安政遠足の際、参加した安中藩士に振る舞われたお菓子でもある。安中藩主板倉勝明侯の命により、100名弱が心身鍛練のため碓氷峠までの険しい道のり約

と命じたとは！もちろん時代背景は異なる。でも今、私が同じ指示を前橋支店で出すと間違いなく大変なことになる(どう大変かは想像にお任せする)。

「安中に過ぎたるものが三つある」。三つとは、中山道沿いの杉並木、城下に時を知らせたお太鼓、そして、有数の学者藩主で明君だった勝明侯を指す。する。



渡辺真吾(わたなべ・しんご) 1972年生

まれ。岡山県出身。東京大経済学部卒、米ミシガン大で経済学博士号取得。95年に日本銀行入行後、大阪支店営業課長や金融研究所経済ファイナンス研究課長などを経て、2020年9月から現職。